

モラヴィエツキ政権 閣僚の顔ぶれ

平成30年4月17日

マテウシュ・モラヴィエツキ首相 (Mr. Mateusz Morawiecki)	
	1968年6月20日ヴロツワフ生。1992年ヴロツワフ大学歴史学部卒(修士号)。1995年ヴロツワフ経済大学卒(経営修士号)。学生時代に反体制運動に関与。出版、コンサルタント、銀行勤務を経て、欧州統合委員会事務局にてポーランドのEU加盟条件の交渉を担当。1998年からBZ銀行に入り、2007年～15年までBZ・WBK銀行総裁。1998年～2002年にはドルノシロンスク県議会議員も務める。2010年にトゥスク首相(当時)の経済評議会メンバーに就任。2015年～2017年12月まで副首相兼開発大臣(2016年9月より財務大臣を兼務)。
ベアタ・シドゥウォ副首相 (Ms. Beata Szydło)	
	1963年4月15日オシフィエンチム生。1989年ヤギェロン大学民族学部卒(修士号)。1995年同大学博士課程修了。クラクフ市歴史博物館、リビオンシュ文化センター勤務を経て、1998年～2005年にブジェシュチェ町長を務める。2005年から4期連続で下院議員(「法と正義」(PiS))を務め、2010年からPiS副党首。2015年5月の大統領選挙にて勝利したドゥダ大統領の選挙参謀を務め、同年10月の総選挙においても同党首相候補として勝利に貢献。2015年11月～2017年12月まで首相。
ピオトル・グリンスキ副首相兼文化・国家遺産大臣 (Prof. Piotr Gliński)	
	1954年4月20日ワルシャワ生。1978年ワルシャワ大学経済学研究所・社会学研究所卒(修士号)。1984年博士号取得。2008年教授資格取得。長年にわたりポーランド科学アカデミー(PAN)にて研究者・教育者として活躍し、国内外の様々な大学でも教鞭を握る。2010年にカチンスキ大統領(当時)に国家発展評議会メンバーに任命されて以降、「法と正義」(PiS)と協力関係を深め、同党が提出した2回の内閣不信任案において首相候補となる。2015年総選挙で下院初当選。
ヤロスワフ・ゴヴィン副首相兼科学・高等教育大臣 (Dr. Jarosław Gowin)	
	1961年12月4日クラクフ生。1985年ヤギェロン大学卒業(修士号、哲学史)。2001年ポーランド科学アカデミー(PAN)にて博士号取得。学生時代には反体制運動に関与。クラクフ教育大学及び出版社等の勤務を経て、2005年～07年に上院議員(市民プラットフォーム(PO))、07年～現在まで下院議員(3期連続、13年までPO、その後「J.ゴヴィンのポーランドと共に」(現「合意」)を設立)。2011年～13年まで法務大臣を務める。2015年総選挙は「法と正義」(PiS)のリストから下院議員に出馬して当選。
ヨアヒム・ブルジンスキ内務・行政大臣 (Mr. Joachim Brudziński)	
	1968年2月シフィエルクラニェツ(シロンスク県)生。1990年シフィノウイシチェ海運学校卒、1997年シチェチン大学卒(政治学修士)。1991年に「法と正義」の前身党「中央合意」発足直後に入党以来、カチンスキ党首の緊密な協力者で、現在も最側近の一人とされる。2005年から四期連続下院議員。2015～18年下院副議長。「法と正義」副党首。

ヤツェク・チャプトヴィチ外務大臣 (Prof. Jacek Czaputowicz)



1956年5月30日ワルシャワ生。1986年ワルシャワ中央計画統計大学卒業(修士号)。1997年ポーランド科学アカデミー政治研究所博士課程(政治科学)修了。1990年以來、外務省(領事局長、戦略・外交政策企画局長、外務次官(法務・条約担当)等)や首相府等での政府役職と、ワルシャワ大学等の研究・教職を歴任。社会科学教授で外交、安全保障政策に関する著書多数あり。

マリウシュ・ブワシュチャク国防大臣 (Mr. Mariusz Błaszczak)



1969年9月19日レギオノヴォ(マゾフシェ県)生。1994年ワルシャワ大学歴史学部卒業(修士号)。地方自治体等勤務を経て2005年～07年に首相府長官に就任し、07年には無任所大臣も務める。2007年総選挙で下院(「法と正義」(PiS))に初当選し、その後3期連続で下院議員。2010年～15年11月までPiSの下院院内総務を務める。2015年～2018年1月まで内務・行政大臣。「法と正義」副党首。

ズビグニェフ・ジョブロ法務大臣 (Mr. Zbigniew Ziobro)



1970年8月18日クラクフ生。1994年ヤギェロン大学法行政学部卒(修士号)。税監査局、内務・行政大臣顧問等を経て2001年に法務次官を務め、カチンスキ法相(当時)の側近として活躍。2001年に「法と正義」(PiS)設立に貢献し、同年から下院議員を4期務める。2005年～07年に法務大臣兼検事総長。2011年にPiSから離れ、「連帯ポーランド」を設立し党首に就任。2015年総選挙ではPiSのリストから出馬し当選。

テレサ・チェルヴィンスカ財務大臣 (Dr. Teresa Czerwińska)



1974年9月ドゥイネブルグ(ソ連ラトビア共和国(当時))で、ポーランド人の両親の家庭に生まれる。1997、98年にグダンスク大学社会学部、経営学部卒。以後同大学、ワルシャワ大学等で経済学博士、特任教授として研究、教職に在勤。2015年「法と正義」政権発足と共に科学・高等教育省次官となり、2017年6月より財務次官。

ヘンリク・コヴァルチク環境大臣 (Mr. Henryk Kowalczyk)



1956年7月15日ジャヴィアンカ(マゾフシェ県)生。1980年ワルシャワ大学数学部卒(修士号)。1980年代に連帯運動に関与。学校教師、チェハノフスキ県(当時)地方長官、マゾフシェ県議会議員等を経て、2005年から4期連続で下院議員(「法と正義」(PiS)所属)。2006年～07年に農業・農村開発副大臣を務める。2015年～2018年1月まで閣僚評議会常設委員長。

ヤドヴィガ・エミレヴィチ企業・技術大臣 (Dr. Jadwiga Emilewicz)



1974年8月クラクフ生。1998年ヤギェロン大学卒業後、同大学にて博士号(歴史・社会学)取得。以後国内外の大学、研究機関等で活動。2013年に現連立与党の「J.ゴヴィンの共にポーランド」(現「合意」)に参加。マウオポルスカ県議会議員。2015年よりモラヴィエツキ現首相の下で開発省次官として、中小企業振興、イノベーション政策等を担当。

イェジ・クフィエチンスキ投資・開発大臣 (Dr. Jerzy Kwieciński)



1959年10月スタロヴァ・ヴォーラ(ポドカルパチア県)生。ワルシャワ工科大学卒業, 1991年に同大学で工学博士号取得。1993年～2004年にポーランドEU代表部に在勤しEU補助金関連を担当。2005～08年の「法と正義」政権時に地域開発省(当時)次官。2008年から民間の「欧州企業基金」(ECP)副代表。2015年より開発省次官。

クシシュトフ・トフジェフスキ・エネルギー大臣 (Mr. Krzysztof Tchórzewski)



1950年5月19日ジョンジェフ(マゾフシェ県)生。1974年ワルシャワ工科大学電子学部卒(修士号)。1974年～90年にポーランド国鉄(PKP)電気エネルギー部門で勤務。1980年代は「連帯」運動に参加。1989年から計6期にわたり下院議員(2005年から「法と正義」(PiS)所属)。1997年～2001年交通・海事経済副大臣。シェドレツキエ(当時)県地方長官, 民間企業等の勤務経験もあり。

アンナ・ザレフスカ国民教育大臣 (Ms. Anna Zalewska)



1965年7月6日シフィエボジツェ(ドルノシロンスク県)生。1989年ヴロツワフ大学ポーランド語学部卒(修士号)。シフィエボジツェ高校教師及び教頭を経て, 2002年～07年に郡議会議員。2007年から3期連続で下院議員(「法と正義」(PiS)所属)。

ヴィトルド・バンカ・スポーツ・観光大臣 (Mr. Witold Bańka)



1984年10月3日ティヒ(シロンスク県)生。シロンスク大学社会学部卒(修士号)。陸上競技選手。2007年世界陸上(大阪)の400mリレーで銅メダルを獲得。

エルジビエタ・ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣 (Ms. Elżbieta Rafalska)



1955年6月22日フスホヴァ(ルブリン県)生。1978年ポズナン体育教育大学卒(修士号)。バレー選手, 学校教師, 県職員等を経て, 1994年～2005年にゴシュフ市議会議員。2004年に「法と正義」(PiS)に入党し, 2005年～07年に上院議員, 07年～3期連続で下院議員を務める。2006年～07年に家族・労働・社会政策副大臣。

クシシュトフ・ユルギエル農業・農村開発大臣 (Mr. Krzysztof Jurgiel)



1953年7月18日オグロドニキ(ポドラシェ県)生。1978年ワルシャワ工科大学測地学・地図製作学部卒(工学修士号)。測地学の専門家としてキャリアを重ねると同時に, 連帯運動・政治活動にも関与。1994年にビャウオストク市議会議員に当選し, 95年～98年にビャウオストク市長。1997年から現在まで6期連続で下院議員を務め(2001年から「法と正義」(PiS)所属), 2005年～06年には農業・農村開発大臣を務める。

アンジェイ・アダムチク・インフラ大臣 (Mr. Andrzej Adamczyk)



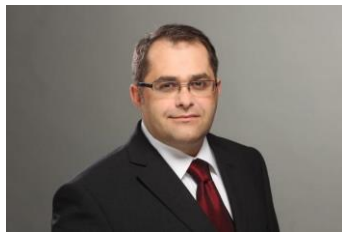
1959年1月4日クシェショヴィツェ(マウォポルスカ県)生。1979年クシェショヴィツェ建設学校卒(その後学位取得)。クラクフ市議会議員を経て、2005年から4期連続で下院議員(「法と正義」(PiS)所属)。2015年～2018年1月までインフラ・建設大臣。

ウカシュ・シュモフスキ保健大臣 (Prof. Łukasz Szumowski)



1972年6月ワルシャワ生。1997年ワルシャワ医科大学卒。医学博士、教授で、専門は心臓生理学。大学卒業後、ワルシャワの心臓専門病院を中心に臨床医師、研究者として在勤し、医師としての技量は高く評価されている。2011年～16年に科学・高等教育省で生命科学研究者部会長、2016年より同省次官。

マレク・グルバルチク海事経済・河川交通大臣 (Mr. Marek Gróbarczyk)



1968年3月13日ノヴィ・ソンチ生。グディニャ海事大学卒(修士号)。船員、建築会社勤務等を経て、2007年に海事経済大臣に就任。その後、「法と正義」(PiS)に入党し、2009年～15年に欧州議会議員(二期連続)を務める。

マレク・ザグルスキ・デジタル化大臣 (Mr. Marek Zagórski)



1967年1月6日カミエン・ポモルスキ(西ポモージェ県)生。シチェチン大学人文学部卒(修士号)。雑誌社、TV等勤務、農業・農村開発大臣政務室長等を経て、2001年～05年まで下院議員を務めた。2006年～07年に農業・農村開発副大臣、2009年～15年にポーランド農村開発欧州基金理事長を歴任し、2015年に下院議員に再当選以降は、2015年～16年に国有財産省副大臣、2016年～18年にデジタル化副大臣を務め、2018年4月より現職。

マリウシュ・カミンスキ首相府特殊機関調整担当大臣 (大臣) (Mr. Mariusz Kamiński)



1965年9月25日ソハチェフ(マゾフシェ県)生。ワルシャワ大学歴史学部卒(修士号)。1980年代に反体制運動に従事。1997年～2006年、2011年～現在まで下院議員(計5期、2001年～06年、11年から現在まで「法と正義」(PiS)所属)。2006年～09年に反汚職庁長官を務める。「法と正義」副党首。

ベアタ・ケンパ首相府大臣 (Ms. Beata Kempa)



1966年2月11日シツフ(ドルノシロンスク県)生。1990年ヴロツワフ大学法行政学部卒(修士号)。シツフ市議会議員を経て、2005年から4期連続で下院議員。2006年～07年に法務副大臣。2015年～2017年に首相府長官。